

2022年度実施選考試験向け

小学校学習指導要領

テキスト

 沖縄教員塾

目 次

第1章 学校教育法施行規則	3
1-1 別表第1	3
第2章 総則	4
2-1 第1 教育課程編成の一般方針	4
2-2 第2 教育課程の編成	4
2-3 第3 教育課程の実施と学習評価	5
2-4 第4 児童の発達の支援	6
2-5 第5 学校運営上の留意事項	8
2-6 第6 道德教育に関する配慮事項	8
第3章 国語	10
3-1 第1 目標	10
3-2 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕	10
3-3 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕	12
3-4 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕	14
3-5 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	17
第4章 社会	20
4-1 第1 目標	20
4-2 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年〕	20
4-3 第2 各学年の目標及び内容〔第4学年〕	22
4-4 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年〕	25
4-5 第2 各学年の目標及び内容〔第6学年〕	28
4-6 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	31
第5章 算数	33
5-1 第1 目標	33
5-2 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕	33
5-3 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年〕	35
5-4 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年〕	38
5-5 第2 各学年の目標及び内容〔第4学年〕	41
5-6 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年〕	46
5-7 第2 各学年の目標及び内容〔第6学年〕	49
5-8 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	52
第6章 理科	54
6-1 第1 目標	54
6-2 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年〕	54
6-3 第2 各学年の目標及び内容〔第4学年〕	56
6-4 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年〕	59
6-5 第2 各学年の目標及び内容〔第6学年〕	62
6-6 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	65
第7章 生活	66
7-1 第1 目標	66

7-2 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕	66
7-3 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	67
第8章 音楽	69
8-1 第1 目標	69
8-2 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕	69
8-3 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕	71
8-4 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕	73
8-5 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	75
第9章 図画工作	79
9-1 第1 目標	79
9-2 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕	79
9-3 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕	80
9-4 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕	81
9-5 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	82
第10章 家庭	85
10-1 第1 目標	85
10-2 第2 各学年の内容〔第5学年及び第6学年〕	85
10-3 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	88
第11章 体育	90
11-1 第1 目標	90
11-2 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕	90
11-3 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕	92
11-4 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕	95
11-5 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	98
第12章 外国語活動	101
12-1 第1 目標	101
12-2 第2 各言語の目標及び内容等	101
12-3 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	104
第13章 外国語	105
13-1 第1 目標	105
13-2 第2 各言語の目標及び内容等	105
13-3 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	110
第14章 総合的な学習の時間	111
14-1 第1 目標	111
14-2 第2 各学校において定める目標及び内容	111
14-3 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	112
第15章 特別の教科 道徳	114
15-1 第1 目標	114
15-2 第2 内容	114
15-3 第3 指導計画の作成と内容の取扱い	118

20は、2020年度実施選考試験で出題された項目を表しています。

第2章 総則

2-1 第1 教育課程編成の一般方針

囲みは過去1回の出題箇所である(教職教養での小学校学習指導要領からの出題含む)。太下線・食育・食育の推進は中学校学習指導要領から過去1回の出題箇所である。

小学校学習指導要領

第1章 総則

第1 小学校教育の基本と教育課程の役割

2 (3) 16教養 12教養 10 10教養 06 05教養

学校における体育・健康に関する指導を、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮すること。

3 2の(1)から(3)までに掲げる事項の実現を図り、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に、生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動(以下「各教科等」という。ただし、第2の3の(2)のア及びウにおいて、特別活動については学級活動(学校給食に係るものを除く。)に限る。)の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしなが、教育活動の充実に努めるものとする。その際、児童の発達の段階や特性等を踏まえつつ、次に掲げることが偏りなく実現できるようにするものとする。

- (1) 知識及び技能が習得されるようにすること。
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育成すること。
- (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養すること。

2-2 第2 教育課程の編成

太下線は中学校学習指導要領からの出題箇所である。

小学校学習指導要領

第1章 総則

第2 教育課程の編成

1 各学校の教育目標と教育課程の編成

教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。その際、第5章総合的な学習の時間の第2の1に基づき定められる目標との関連を図るものとする。

2 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

(1) 14教養 各学校においては、児童の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)、問

第3章 国語

3-1 第1 目標

「**囲み**・**資質**・**能力**・**能力**・**思考力**や**想像力**」は過去1回の、「**二重囲み**・**思考力**・**想像力**」は過去2回の、「**ゴシック二重囲み**」は過去3回以上の出題箇所である。

小学校学習指導要領

第2章 各教科

第1節 国語

第1 目標**21****20****19****18****17****16****15****11****08****06****05****04**

「**言葉**による**見方**・**考え方**」を働かせ、「**言語活動**」を通して、「**国語**」で「**正確**」に**理解**し「**適切**」に表現する「**資質**・**能力**」を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 「**日常生活**」に必要な国語について、その特質を**理解**し**適切**に使うことができるようにする。
- (2) 「**日常生活**」における人との関わりの中で「**伝え合う力**」を高め、「**思考力**」や「**想像力**」を養う。
- (3) 言葉がもつ**よさ**を認識するとともに、「**言語感覚**」を養い、「**国語**」の大切さを自覚し、国語を尊重してその**能力**の向上を図る**態度**を養う。

3-2 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕

「**囲み**」は過去1回の、「**二重囲み**」は過去2回の出題箇所である。下線部は、低学年・中学年・高学年に分ける設問の出題箇所である。

小学校学習指導要領

第2章 各教科

第1節 国語

第2 各学年の目標及び内容

〔第1学年及び第2学年〕

1 目標**14****13****12****11****10****06**

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) **19** 「**順序**」立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや**考えをもつ**ことができるようにする。
- (3) **18** 言葉がもつよさを感じるとともに、「**楽しんで読書**」をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 内容

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア **18** 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。
 - イ 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。
 - ウ 長音、^も拗音、^{はつ}促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の

2022/4/7(木)

国語・社会

小学校学習指導要領

問題

 沖縄教員塾

目 次

第1章 出題分析	2
1-1 国語の出題(2021～02年度).....	2
1-2 国語の傾向分析.....	2
1-3 国語の対策.....	3
1-4 社会の出題(2021～02年度).....	3
1-5 社会の傾向分析.....	3
1-6 社会の対策.....	4
1-7 このテキストの使い方.....	4
第2章 国語	5
2-1 総則.....	5
2-2 第1 目標.....	7
2-3 各学年の目標.....	14
2-4 各学年の内容.....	16
2-5 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕.....	23
2-6 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕.....	24
2-7 第3 指導計画の作成と内容の取扱い.....	26
2-8 学習指導要領解説 国語編 第1章 総説.....	31
2-9 学習指導要領解説 国語編 第2章 国語科の目標及び内容.....	32
2-10 学習指導要領解説 国語編 第4章 指導計画作成上の配慮事項.....	35
2-11 敬語の指針.....	36
2-12 言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】.....	37
第3章 社会	38
3-1 第1 目標.....	38
3-2 各学年の目標〔第3学年〕.....	42
3-3 各学年の内容と内容の取扱い〔第3学年〕.....	46
3-4 各学年の目標〔第4学年〕.....	47
3-5 各学年の内容と内容の取扱い〔第4学年〕.....	50
3-6 各学年の目標〔第5学年〕.....	52
3-7 各学年の内容と内容の取扱い〔第5学年〕.....	55
3-8 各学年の目標〔第6学年〕.....	58
3-9 各学年の内容と内容の取扱い〔第6学年〕.....	60
3-10 各学年の目標.....	63
3-11 各学年の内容.....	64
3-12 第3 指導計画の作成と内容の取扱い.....	65

第1章 出題分析

1-1 国語の出題(2021~02年度)

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	16年度	15年度	14年度	13年度	12年度	11年度	10年度	09年度	08年度	07年度	06年度	05年度	04年度	03年度	02年度	
学習指導要領	2	2	4	4	5	3	1	2	2	2	2	2	3	3	2	2	4	4	4	1	
総則					1								1		1	1					
第1 目標	1	1	1	1	1	1	1				1			1		1	1	1			
第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 1 目標			1	1				1	1	1	1	1									
第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 2 内容	1	1	2	2	1	2							1								
第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 1 目標			1	1				1	1	1	1	1									
第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 2 内容	1	1	2	2	1	2							1				1	1		1*	
第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 1 目標			1	1				1	1	1	1	1									
第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2 内容	1	1	2	2	2	2							1				1	1		1*	
第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1								1	1				1	1			1				
第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2										1					1						
第3 指導計画の作成と内容の取扱い 3					1							1		1				1		3	
学習指導要領解説	1	0	1	1	0	1	2	2	2	2	2	2	1	0	1	1	0	0	0	3	
第1章 総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点							1	1	1	1	1	2	1								
第2章 国語科の目標及び内容						1	1	1	1	1	1				1	1				3	
第4章 指導計画作成上の配慮事項	1		1	1																	
学習指導要領の趣旨・内容に関する合致問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
文化審議会答申	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	
言語活動の充実に関する指導事例集	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	3	2	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	8	8
配点	12	8	10	8	10	10	8	8	8	9	10	9	9	10	/	/	/	/	/	/	

2016年度実施選考試験までは旧学習指導要領からの出題である。

2008年度実施選考試験までは旧々学習指導要領からの出題である。

2007年度実施選考試験まで配点は公表されていない。

*は指導法に関する記述問題である。

1-2 国語の傾向分析

45問180点の出題となった、この2年を分析する。

国語は、2021年度実施選考試験で3問12点の出題だった。

2021年度実施選考試験は、「第1 目標」から1問、「第2 各学年の目標及び内容」の「2 内容」から1問が出題された。学習指導要領解説から「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」の「1 指導計画作成上の配慮事項」から1問が出題された。すべて3つの組み合わせの出題だった。

2020年度実施選考試験で2問8点の出題だった。

「第1 目標」から1問、「第2 各学年の目標及び内容」の「2 内容」から1問が出題された。すべて組み合わせの出題だった(1問は低学年・中学年・高学年の組み合わせ)。

2006年度実施 | 解答番号15

三 次の文章は、「小学校学習指導要領」及び「小学校学習指導要領解説国語編」、「文化審議会答申」に示されている事柄である。後の問いに答えなさい。

1 文中の空欄〔 〕には同一の語句が入る。適切な語句を一つ選び、番号で答えなさい。

「小学校学習指導要領 第1章 総則 第3 教育課程の実施と学習評価」に、「第2の2の(1)に示す〔 〕能力の育成を図るため、各学校において必要な〔 〕環境を整えるとともに、国語科を要としつつ各教科等の特質に応じて、児童の〔 〕活動を充実すること。あわせて、(7)に示すとおり読書活動を充実すること。」と示されている。

- 15 ① 国語 ② 日本語 ③ 言葉 ④ 言語

2-2 第1 目標

2021年度実施 | 解答番号9

三 「小学校学習指導要領(平成29年3月告示)」「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」に示されている事柄について、後の問いに答えよ。

(1) 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第2章 各教科 第1節 国語 第1 目標」である。文中の(ア)から(ウ)に入る組み合わせとして正しいものを、次の①から④までの中から一つ選び、記号で答えよ。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する(ア)を次のとおり育成することを目指す。

- (1) (イ)に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、(ウ)の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

- 9 ① (ア)資質・能力 (イ)日常生活 (ウ)国語
 ② (ア)資質・能力 (イ)言語生活 (ウ)国語
 ③ (ア)能力・資質 (イ)言語生活 (ウ)言葉
 ④ (ア)能力・資質 (イ)日常生活 (ウ)言葉

2022年度実施選考試験向け

小学校・図画工作 問題

 沖縄教員塾

目 次

第1章 出題分析	2
1-1 図画工作の出題(2021～06年度実施)	2
1-2 図画工作の傾向分析	4
1-3 図画工作の対策	4
1-4 このテキストの使い方	4
第2章 絵画	5
2-1 色彩	5
2-2 用具・描画材料	7
2-3 技法	8
第3章 版画	11
3-1 用具	11
3-2 種類・技法	12
第4章 粘土	13
第5章 木工芸	16
5-1 用具	16
5-2 材料	22
5-3 技法	22
第6章 その他	23
6-1 用具	23
6-2 材料	25
6-3 用具・材料	26

第1章 出題分析

学習指導要領からの出題は除く。

1-1 図画工作の出題(2021～06年度実施)

2005～02年度実施選考試験は、学習指導要領からの出題のみ。絵画(技法)の□は、間違いの選択肢で出題されたものである。

分野		事項	小計	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	16年度	15年度	14年度	13年度	12年度	11年度	10年度	09年度	08年度	07年度	06年度		
絵画	色彩	色の3要素	色相	3	1							1								1	
			明度	2	1								1								
			彩度	3	1								1								
		色の種類	無彩色	2														1			1
			有彩色	0																	
			補色	1														1			
		色の3原色	2																		2
		色づくり	重色	2									1					1			
			混色	2									1					1			
			小計	9	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	5	
	用具・描画材料		クレヨン	1													1				
			平筆・丸筆・面相筆	1				1											1		
			パレット	1										1							
			小計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	技法		ぼかし	1				□	□		1										
			スクラッチ	1													1				
			ステンシル	1					1												
			にじみ	0				□			□										
			スパッターリング	2				1	□	□		□	□	1			□				
			ドリッピング	2				1	□	□				1	□		□				
			ふきながし	0											□	□					
			パチック	3				□	1	□		1						1			
			デカルコマニー	3				1	1	1	1	□						□			
			ストリング	0														□			
			コラーージュ	1									□					1			
			マーブリング	1				1			□		□	□	□		□				
			スタンピング	0														□			
			フロッターージュ	2					1		□		1					□			
		小計	11	0	0	0	1	1	0	2	0	2	1	1	0	3	0	0	0		
		絵画小計	22	1	0	0	1	1	0	2	1	3	1	1	0	5	1	0	5		
	版画	用具	丸刀	1						1											
			三角刀	2						1				1							
			平刀	1						1											
切り出し			1																1		
バレン			1																1		
種類・技法		凸版	1																1		
		木版画	1																1		
	版画小計	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0		

第2章 絵画

2-1 色彩

2021年度実施 | 解答番号34

2

34 ① 色相は変わらない — 明度は高くなる — 彩度は低くなる

問題: 不透明水彩絵の具で、純色の青に同量の白を混色すると、色相、明度、彩度はどう変化するか。当てはまるものを、①から④までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- 34 ① 色相は変わらない — 明度は高くなる — 彩度は低くなる
 ② 色相は変わらない — 明度は低くなる — 彩度は低くなる
 ③ 色相は変わる — 明度は低くなる — 彩度は高くなる
 ④ 色相は変わる — 明度は変わらない — 彩度は高くなる

解説: 色彩(色の3要素)

色には色相・明度・彩度の3つの要素があり、これを色の3要素と呼ぶ。

色相²¹ ¹³ ⁰⁶は、赤・黄・緑・青・紫という言葉で区別できる色の性質で、互いが連続してつながりあり色相の輪(色相環)をつくる。例えば赤と黄の間には橙、赤みの黄、など両方の要素を含む色が無数に存在する。また色相は、暖かい感じの色(暖色)から冷たい感じの色(寒色)へと変化する。無彩色(白・黒・灰色)は色相としては捉えないため、「青」に「白」を足しても色相は変化しない。

明度²¹ ¹³とは色の明るさの度合いのことである。色相とは別に、明るい色・暗い色というように色を比較して区別することができる。例えば黄色に比べ、青は比較的暗い。すなわち青よりも黄色の方が明度が高いといえる。また明るい色はさわやかで軽快な感じの色に、暗い色は重厚で落ち着いた感じの色になる。明度が最も高い色は白、逆に最も低い色は黒である。問題のように「青」に「白」を足した場合、明度を上げる要素が増えるため、明度は高くなるといえる。

彩度²¹ ¹³ ⁰⁶は、色の鮮やかさやくすみの程度を数量的に表した尺度である。彩度は無彩色で0となり、純色で最大となる。問題のように無彩色である白を混ぜることで、純色に近いものから無彩色の度合いが高まる。すなわち彩度は低くなるといえる。

2013年度実施選考試験の解答番号64とまったく同じ設問である。